

事業実績報告書

様式 2
(2018年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-74	講座名	ももなも耕せプロジェクト「いのこしの畑で綿とひとつをつくろう」
記載日	2018.12.24	団体名・企業名	NPO法人 芸術の広場ももなも
〈講座全体の概要〉(300字程度)			
<p>名東区の住宅街の中にある「いのこしの畑」での綿の収穫や果樹の観察・収穫を通じて、都市に残る小さな自然を感じる。収穫のほか、綿繰り、糸紡ぎ、織りといった作業を体験し、ひとつの作物から製品ができるまでの工程を学ぶ。いろいろな作業を通じて、さまざまな世代の人々と交流しながら学ぶことで、地域で積極的に活動できるなかまをつくる。</p>			
〈写真添付スペース(1~2点)〉			
			
※写真1の説明		※写真2の説明	
第1回：いのこしの畑にてわたの実の様子を観察（2018年11月10日）		第2回：自作の織り機を使ってじぶんの紡いだ糸でコースターを織る（2018年12月15日）	
〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)			
<p>住宅街の中にあるにもかかわらず、さまざまな果樹や虫などの自然にふれることができたことは参加者の皆さんにとって驚きの体験のようでした。畑でわたの実の様子を見学したうえでの、綿繰りや糸紡ぎ、そして織りの作業は、初めて体験する方がほとんどで、楽しくまた興味を持って取り組んでいただくことができました。家族での参加が多数でしたが、グループに分かれての作業では、家族以外のおとなや子どもたち同士で協力し合ったり、交流しながら作業する様子が見られました。</p>			
〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)			
<ul style="list-style-type: none"> ・綿と種を分ける機械をはじめて見ました。 ・糸が太くなったり細くなったり調節が難しかった。糸をつむぐことの大変さを実感した。 ・子どもといっしょに綿の実や収穫を通して自然の大切さと手作業の楽しさを学びました。 ・織る作業は単純作業ではあるが、集中することができて楽しかった。 <p>グループ分けで初対面の人と楽しく交流できた。家族がかたまらないのでグループで助け合えてよかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・綿から糸、糸からコースターのこうていがすごかったです。 			